

本とあそぼう
ことみんと

Vol. 6

2001年 9月
 宇佐市民図書館
 〒879-0453
 宇佐市大字上田1017-1
 Tel. 0978-33-4600
 Fax. 0978-33-4679



詩や俳句は一つで「いいなあ」と思
 うものがあります。川柳もそうなので
 すが、沢山読めば読むほど楽しい。ク
 スクスが爆笑になる。そんな本です。
 イラストのおかげで分かりやすく、よ
 りユーモラスになっています。ペン
 ームにもご注目。

『イラスト子ども川柳』 K 911ク
 熊田松雄 編 なかにしけいこ イラスト
 汐文社 刊

ボランティアについて

- ボランティアってなに？
- どんなことに気をつければいいの？
- どんなボランティアがあるの？

と思ったときの一冊

しょうがっこうこうがくねん ちゅうがくせいばん
『小学校高学年・中学生版

やさしいボランティア』 K 369 ホ 取材・編集ほんの木
ほんの木 刊



『ぼく 耳がきこえないんだ』 E ブ

フレディ=ブルーム 作 マイケル=チャールトン 絵
むらたあきこ やく かいせいしや
邑田晶子 訳 偕成社

耳がきこえないマークは、池で大きな音をたてていたの、ほかの子におこられてしまいます。でも、なぜなのかわからず、逃げてしまいます。

お母さんはマークをなぐさめ、ほかの子にもマークが耳がきこえないこと、それでも話を聞こうとしていることなどをせつめいしてくれます。

- 体の不自由な人はどんなことにこまっているの？
- 不自由さを助けるためのどんなものがあるの？
どんなことができるの？

そういう本も展示します。



- ボランティアってするだけ？
されるだけ？

『ボランティアしあおうよ～車イスのぼくから君へ～』
まつかねいさお わたなべのりこ
松兼 功 著 渡辺則子 絵

岩崎書店

脳性マヒで、体が不自由な松兼さんは、小さいころから「ボランティア」と会うことが多かったそうです。

そしていま「ボランティア、ボランティア」と流行のようにいわれていることに、すこし不安を感じてもいます。

ボランティアはまわりの人や社会の役に立ち、そのなかでよろこびや生きがいも生まれたりする。「世のため、人のため、自分のため」、自分にできることをいかにせよ。そして一方的にはなくおたがいに「ボランティアしあおうよ」という本です。

2001年は
●ボランティア国際年です

がんがえりてみる

どくだんとへんけんによっているかもしれない

今月の一冊

ぶたばあちゃん

マーガレット・ワイルド 文 ロン・ブルックス 絵
今村葦子 訳



『ぶたばあちゃん』
文 マーガレット・ワイルド
絵 ロン・ブルックス
訳 今村葦子

あすなる書房
刊

仲の良いおばあちゃんとまごむすめ。でもある日、おばあちゃんはふつうどおりには、できなくなってしまいました。

自分だったらと考えると、もしかしたらだれもが、「こうあれたら」と思うかもしれません。